

徳島小松島港津田地区活性化計画推進委員会

～徳島小松島港津田地区活性化推進計画～ 【概 要】

令和3年6月

1. 基本理念

- ・ ハーフ・インターチェンジの設置により、「四国の玄関口」としての機能を担う、新たな「陸海空の結節点」が誕生
- ・ 活用できる既存ストックが豊富

地方創生の起爆剤

大きな潜在力を持つ津田木材団地のリノベーション

「まち・ひと・しごと」の好循環を全県下に波及させ、
「一歩先の未来」を具現化する
津田木材団地を「とくしま回帰先進地」として再生

2. 目指すべき方向性

○「とくしま回帰」をリードする複合型先進拠点づくり

- ・ 地域の資源を活かし、地域イノベーションを加速させる新たな産業拠点
- ・ 水と緑と笑顔があふれる交流拠点
- ・ 四国の新たな玄関口となる交通結節点

○南海トラフ巨大地震等の大規模災害を迎え撃つ県土強靱化

○地球環境にやさしいスマートな地域社会の構築

地域の資源を活かし、地域イノベーションを加速させる「産業拠点」



○ さらなる企業の誘致
(目安: 20~35ha)

- ・IoTを活用し、陸海空の貨物を取り扱う「流通企業」
- ・事業拡大を目指し、地域経済の活性化に繋げる「製造業」等

○ 既存企業(木材関連)が県産材を加工した製品を国内外へ出荷する加工・流通拠点として活用

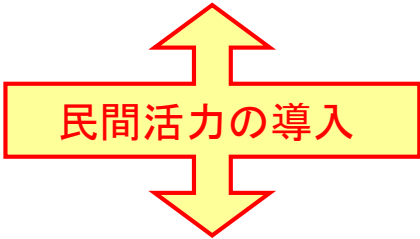
○ 誘致企業の貨物を取り扱うことによる港湾施設の利用促進

水と緑と笑顔があふれる「交流拠点」



○ 憩いの場・駐車場と防災拠点の機能をあわせ持つ緑地の整備 (目安: 約2～4ha)

○ 木材関連産業の振興に資する展示機能, にぎわい・親水機能を有するにぎわい拠点の整備 (目安: 約1～2ha)



○ マリンレジャー拠点となり, 放置艇対策にも繋がる親水機能を有するボートパークの整備

四国の新たな玄関口となる「交通結節点」

○フルインターチェンジ
用地の確保

○アクセス道路の整備
・渋滞対策のための
交差点改良
・歩行者等の安全性向上
のための施設整備



地域の防災力を高める「県土強靱化」

- 木材団地従事者等のための
津波避難場所の整備
(目安: 約1000～3000人避難可能)
- 津波浸水に対応した埋立造成
(周辺より2メートル程度高く造成)

- 新たな土地利用に合わせ
海岸保全施設を段階的に整備
- 浸水被害軽減の排水対策と
親水空間の活用



環境首都・新次元とくしまの実現に向けた「スマートな地域社会」

○ 太陽光発電をはじめとする
再生可能エネルギーの導入促進

○ 地域内エネルギーを総合的に
管理するスマートコミュニティ
モデル地区の構築

地区
全体

○ 地域活性化に寄与する
バイオマス発電所立地に
必要な用地の確保

○ スマートな交通結節点の
実現に向け、にぎわい拠点に
水素ステーションや
EVスタンドの整備



徳島津田ICの早期供用を見据えた**フェーズ1**と将来の**フェーズ2**となる施策を段階的に展開



フェーズ1

徳島津田ICの供用に向けて
平成28年度～

- ・ 第3水面貯木場の埋立事業を推進
- ・ アクセス道路の整備を推進
- ・ 既存用地や埋立地において、企業誘致を推進
- ・ 既存企業（木材関連）の加工・流通拠点整備を推進
- ・ 既存用地において、再生可能エネルギーの導入を推進
- ・ 津波避難場所の整備を推進等

フェーズ2

将来の取組み

- ・ 第2水面貯木場の埋立やボートパーク整備等について調査・検討

徳島小松島港津田地区活性化推進計画の概要

基本理念

- ハーフ・インターチェンジの設置により、「四国の玄関口」としての機能を担う、新たな「陸海空の結節点」が誕生
- 活用できる既存ストックが豊富

地方創生の起爆剤

大きな潜在力を持つ津田木材団地の「リノベーション」

「まち・ひと・しごと」の好循環を全県下に波及させ、「一歩先の未来」を具現化する津田木材団地を「とくしま回帰先進地」として再生



活性化推進計画

とくしま回帰をリードする「複合型先進拠点」づくり

地域の資源を活かし、地域イノベーションを加速させる「産業拠点」

【新たな企業の誘致】⇒ ① ②-1 ③

- ・IoTを活用し、陸海空の貨物を取り扱う「流通企業」
- ・事業拡大を目指し、地域経済の活性化に繋げる「製造業」

【誘致企業の貨物を取り扱うことによる、港湾施設の利用促進】⇒ ⑥

【既存企業（木材関連）の加工・流通拠点整備】⇒ ③ ⑤ ⑦

- ・県産材を加工した製品を国内外へ出荷

水と緑と笑顔があふれる「交流拠点」

民間活力の導入

【マリンスジャー拠点となり、放置艇対策にも繋がる親水機能を有するポートパークの整備】⇒ ④

【木材関連産業の振興に資する展示機能、にぎわい・親水機能を有する「にぎわい拠点」の整備】⇒ ②-3

【憩いの場・駐車場と防災拠点の機能をあわせ持つ緑地の整備】⇒ ②-2 ⑦

四国の新たな玄関口となる「交通結節点」

【フル・インターチェンジ用地の確保】⇒ ① ⑦

【津田木材団地と背後地域を結ぶアクセス道路の整備】⇒ ⑧

- ・渋滞対策のための交差点改良
- ・歩行者等の安全性向上のための施設整備

南海トラフ巨大地震等の大規模災害を迎え撃つ「県土強靱化」

地域の防災力を高める「県土強靱化」

【木材団地従事者等のための津波避難場所の整備】⇒ ① ②-1～②-3

- ・高速道路、緑地、にぎわい施設を活用

【津波浸水に対応した埋立造成】⇒ ① ②-1～②-3

- ・周辺より2メートル程度高く造成

【新たな土地利用に合わせ海岸保全施設を段階的に整備】⇒ 地区全体

【内水被害軽減のための排水対策と親水空間の活用】⇒ 地区全体

地球環境にやさしい「スマートな地域社会」の構築

環境首都・新次元とくしまの実現に向けた「スマートな地域社会」

【スマートな交通結節点の実現に向け、にぎわい拠点に水素ステーション・EVスタンドを整備】⇒ ②-3

【太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー導入の促進】⇒ (地区全体)

【地域活性化に寄与するバイオマス発電所立地に必要な用地の確保】⇒ ⑧

【地域内エネルギーを総合的に管理するスマートコミュニティ・モデル地区の構築】⇒ (地区全体)

計画推進に向けた取組み

徳島津田ICの早期供用を見据えたフェーズ1と将来のフェーズ2となる施策を段階的に展開